

イネネクイハムシ小野市山田町で採集

(兵 庫 県 甲 虫 相 資 料 ・ 2 1 6)

高 橋 寿 郎

イネネクイハムシ *Donacia* (*Cyphogaster*)*provosti* Fairmaire, 1885 は Peking 産で記載された種である (Ann. Soc. Ent. France (6)V, Bull. Séance pp. LXIV-LXV, 1885)。

日本から本種が初めて正式に記録されたのは1934年の中條道夫博士の論文においてであると考えられる (Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa, 24: 528)。その中で中條博士は従来日本では *Donacia aeraria* 或は *D. lenzi* の両種と混同されてきていることを指摘されている。

筆者自身は見る機会を得ていないが中條博士と同じ年(1934)に Goecke 氏が *Donacia* (*Cyphogaster*) *Provosti* として Japan proper: Tokio, Kioto & Hiogo を産地に日本を分布にふくんだ記録を発表しておられる (Kol. Rundschau, xx. 6, pp.217 & 218-221, 5 photo)。

中條博士の発表になられた論文の中では 1 sp. Hiogo (Honshu) 7, VI, 1881 (Col. G. Lewis) の記録がふくまれている。

この種とネクイハムシ *D. lenzi* との区別はそれ程難しくないようなのだが (觸角第3節が明らかに第2節より長く約 1.5倍あり、体色も可成り明るくはっきりした色彩をしている様である)。

文献によると本種の方がネクイハムシより低地に広く分布しているようなのである。共に分布の広い種である。

ところが兵庫県下ではネクイハムシの方は分布も広いし、個体数が大変多いのかかわらずイネネクイハムシの方は記録もそれ程無く (美方郡下では割合いる様である)。筆者自身も県下から未採集であった。恐らく調査不十分の結果なのか今一つ県下での分布が良くわからない種であった。

1987年小野市山田町で調査の機会があり (5月2回、6月2回の調査) たまたま池もそこそこあるので注意して見たのであるが時期が悪かったのか採集出来なかった。7月8日にも調査に出掛け1ヶ所の池でネクイハムシが割合見られた (5♂, 4♀採集)。その池でネクイハムシに混じってイネネクイハムシ1♂を採集することが出来た。もつといえるのではと注意したが他には得られなかった。7月23日も再度調査に出掛けて探して見たがこの時は両種共見られなかった。

僅か1♂の採集しか出来なかったが恐らくこのあたりには間違いなくいる様に思われる。今の所野ヶ原からの記録は無い様に思うが多分ここにもいるのではないだろうかと考えている。一応今後の

調査をまつこととしてとりあえず小野市での産の記録報告をしておく（9月17日も調査したがネクイハムシ1♂を得たのみであった。場所は山田町の池であった）。

(MAY 1988)

神戸市内のムネアカセンチコガネ

(兵庫県甲虫相資料・217)

高橋 寿郎

1988年7月25日六甲山上の道路上から（凌雲台付近）（多分電燈に飛来したのではないかと）蜂谷幸雄氏が本種即ちムネアカセンチコガネ *Bolbocerosoma nigroplagiatum* (Waterhouse) の1♀を採集され御恵与下さった。戦前六甲山に本種は多くいるとの記録もあつたりしたのであるが戦後全く採集記録が見られなかった種でありまだ元気で棲息していることが確かめられて大変喜んでいる。

そこで神戸市における本種の今迄の記録を一度眺めて見ることにした。

本種は C. O. Waterhouse により日本（長崎）、朝鮮を産地に1875年 *Bolboceras nigroplagiatum* として記載されたのである。（*Trans. ent. Soc. London Part. 1, 1875, p.96-97*）（標本は♀で♂は無かったようである）

1895年に G. Lewis は東京、横浜、神戸。普通ならずとして記録された（*Ann. Mag. Nat. Hist. Ser. 6, Vol. X VI, p.385, 1895*）。

これが本種を神戸から記録した一番古いものになる（残念ながらデータが無い）。

1933年の関 公一氏による“御影町附近産の甲虫目録”（*昆虫界 Vol. 1, No. 3, p.251-253*）の中には出てこないが1934年の“大阪・神戸附近の金亀子虫”（*昆虫界 Vol. 2, No. 9, p.308-313*）の中では“御影町に在る後井芳介氏邸の電燈に飛来せり、稀なり”と記録された。これが邦人による神戸市からの初めての記録になるかと思う。

1935年竹中眞一氏は須磨鉢伏山麓明石郡垂水町下畑（現垂水区下畑町）で燈火に飛来した2♂（8-VIII-1931, 17-VIII-1933）の記録を発表された（*昆虫界 Vol. 13, No. 13, p.99*）。

同じく1935年矢野文彦氏は六甲山上で3♂3♀を採集したと記録（内1♂♀は燈火に飛来したもの、